

# 5. 冬の万葉植物(旧暦10月-12月)

ヤマボウシ 山法師



2023年11月1日撮影 あけぼの公園

つみ 柘

卷3-387 若宮年魚麻呂

いにしへに  
築うつ人の  
なかりせば  
ここにもあらまし  
柘の枝はも

ノギク 野菊 説あり  
後方:しりへ



ももよぐさ 百代草

万葉集 卷20-4326 壬生部足国  
(みぶのたりくに:現静岡掛川の防人) :

父母が  
殿の後方の  
百代草  
百代いでませ  
我(わ)が来るまで

2023年11月16日 玉川上水陣屋橋周辺

常緑松柏類の総称  
画像はコノテガシワ 児の手柏

かへ:かわらないが語源、長寿、めでたい



2023年11月22日 桜堤公園付近

かへ 栢

卷19-4169 大伴家持:

(長歌)

ほととぎす

きなへさしきい

...

松栢(かへ)乃

さかえいまさね

たふときあがきみ

現代名 ツタ一般 葛

つづら 都豆良

卷14-3434 作者不明:



2023年11月22日 桜堤

上毛野(かみつけ)の  
阿蘇山(やま)都豆  
良(つづら)  
野を広み  
延(は)ひにしものを  
何(あぜ)か絶えせむ

カクレミノ 隠蓑

みつながしは 御綱葉

卷2-90の後記 作者不詳



…皇后紀伊国(きい  
のくに)に遊行(いで  
ま)して  
熊野の岬に到りて  
其処の御綱柏(みつな  
がしは)を取りて  
還(まゐるかへ)る…

2023年11月22日 桜堤公園付近

# コノテガシワ 兎の手柏

このてがしは **兎手柏**

卷16-3836 消奈行文(せなのぎょうもん):



2023年11月22日 桜堤公園

奈良山の  
**兎手柏**(このてがし  
は)の  
**両面**(ふたおも)に  
かにもかくにも  
佞人(こびびと)の伴

ヤマウルシ 山漆

説有り



はじ 波自

巻20-4465 集中1首だけ

（長歌）  
久方の  
天の門開き  
波自弓き

2023年11月29日 上水くぬぎ橋東側

現代名 シバ 芝

雑木説も有り



2023年11月29撮影 境橋

しば 之波

卷14-3573 東歌 作者不詳

あしひきの  
山かづらかけ  
ま之波にも  
得がたきかけを  
置きや枯らさむ

# サカキ 榊



2023年12月7日撮影 桜堤団地  
写真はヒサカキ

さかき 賢木

卷3-0379 坂上郎女 :

(長歌)  
ひさかたの  
天の原より  
生れ来る(あれきた  
る)  
神の命(みこと)奥山の  
賢木の枝に  
しらか付け  
木綿(ゆふ)とりつけて  
いはひくき。。

ミツマタ 三又



2023年12月7日撮影 桜堤団地中央公園

さきくさ 三枝

卷10-1895 柿本人麻呂

春されば  
まづ**三枝**の  
幸(さき)くあらば  
後(のち)にも逢わむ  
な恋ひそ我妹(われ  
ぎも)

現代名 アケビ 木通  
説有り



2023.12.12 梶野橋付近

さのかた 狭野方

巻10-1929 作者不明

狭野方は  
実になりしき  
今さらに  
春雨降りて  
花咲かめやも

現代名 ヤブコウジ 藪柑子 やまたらばな 山橘

卷19-4226 大伴家持



この雪の  
消(け)残る時に  
いざ行かな  
山橘の  
実の照るも見む

2023年12月12日撮影 玉川上水梶野橋周辺

現代名 スギ・ヒノキ類、榎  
画像はヒノキとイヌマキ

真の木の意、神聖視された



ヒノキ 2020年7月23日 玉川上水周辺

イヌマキ 2023年12月22日 山中南公園

まき 真木

巻3-0190 舎人(下級役人):

真木柱  
大き心は  
ありしかど  
この我が心  
鎮めかねつも

現代名：ケヤキ 欒  
画像はムサシノケヤキ



2023年12月23日撮影 もみじ橋

つき 槻

万葉集 卷3-0277 高市黒人：

遠(と)く来ても  
見てましものを  
山城の  
高の槻群  
散りにけるかも

現代名 カラタチ 枳殻

原産地 長江流域

名前:外国のたちばな(柑橘類)  
に由来、この一首だけ



2023年12月26日 曙公園付近

からたち 枳

卷17-3832 大忌部首(いむべのおびと):

枳と  
茨(うばら)刈り除  
け  
倉建てむ  
屎遠くまれ  
櫛造る刀自(とじ)

現代名 ノキシノブ 軒忍  
説有り

しだくさ 子太草

卷11-2475 柿本人麻呂歌集



我が宿の  
軒に子太草  
生いたれど  
恋忘れ草  
見れどいまだ  
生いず

2022年2月21日 撮影 桜堤公園

•以上 110種

# 6. 終わりに

植物の**色形**と**香り**、風にそよぐ**音**と**動き**の**リズム**は万葉時代と同じです。

この冊子で植物の**色形**と**歌**を見比べて、伝統的な感覚が少し蘇ったと思います。実際に散策して、漂う**香り**と風にそよぐ**動き**や**音**で更に深い感覚を蘇らせましょう。



# 画像探索中)

•7首

•水草 数種

地図 ©2023 Google

スギ 杉

現在は日本固有種

画像探索中、  
以前はスギ林が  
あった。

すぎ 杉

万葉集 卷10-1814 柿本人麻呂：

いにしへの  
人の植ゑけむ  
杉が枝(え)に  
霞たなびく  
春は来(き)ぬらし

現代名 ネコヤナギ 猫柳

かはや(な)ぎ 河楊

川べり

巻10—1848 作者不明

画像探索中、  
以前周辺で見か  
けた

他に、ネジバナ、ケイトウ、  
ベニハナなど画像準備中、  
時季に周辺で見かける

山の際に  
雪は降りつ  
しかすがに  
この河楊(やぎ)  
は  
萌えにけるかも

現代名 ヤナギ 柳

やなぎ 柳

川べり

10-1846 作者不明



2024年1月5日 吉祥寺  
大通り（柳橋にもあった）

霜枯れの  
冬の耶馬儀は  
見る人の  
かづらにすべく  
萌えにけるかも

地図 ©2023 Google

現代名 モミ

万葉表記 おみ 臣木

日本特産

卷3-322 山部赤人



2023年12月27日 吉祥寺通り

すめろきの  
：  
匠の木も  
：  
生ひ継ぎにけり

地図 ©2023 Google

現代名 ベニハナ

紅の染料、花は黄色

画像探索中、  
以前周辺で見か  
けた

ベニハナ

くれない 紅

巻6-1044 作者不明

紅に  
深く染みにし  
心かも  
奈良の都に  
年の経ぬべき

現代名 ケイトウ 鶏頭 説  
有り

万葉表記 からあい 韓藍

3-384 山部赤人

画像探索中、  
以前周辺で見か  
けた

ケイトウ

我がやどに  
韓藍蒔き生し  
枯れぬれど  
懲りずてまた  
も  
蒔かむとぞ思ふ

地図 ©2023 Google

現代名 ネジバナ 捩じ花  
説有り、翁草説も

ねっこぐさ 根都古具佐

卷14卷-3508

画像探索中、  
以前周辺で見か  
けた

芝付の  
御宇良崎なる  
根都古具佐  
あひ見ずあら  
ば  
吾恋ひめやも

おわり